【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【公表番号】特表2009-536869(P2009-536869A)
【公表日】平成21年10月22日(2009.10.22)
【年通号数】公開・登録公報2009-042
【出願番号】特願2009-511146(P2009-511146)
【国際特許分類】
*Ａ６１Ｆ　2/46　(2006.01)*
*Ａ６１Ｆ　2/44　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　2/46
Ａ６１Ｆ　2/44

【手続補正書】
【提出日】平成22年5月6日(2010.5.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
外科システムであって、
少なくとも１つのレセプタクルを含む、患者の体内に埋込み可能な受け部材と、
ハンドル部材と、前記ハンドル部材に係合され長手方向軸に沿って前記ハンドル部材から遠位側に延び、前記ハンドル部材を用いて回転可能である駆動シャフトと、前記ハンドル部材に結合され、前記駆動シャフトの周りを長手方向に延びるハウジング部材とを含む器具であって、前記ハンドル部材が該ハウジング部材に対して回転可能である、器具と、
前記駆動シャフトに沿って位置決めされ、前記駆動シャフトに沿って前記駆動シャフトの遠位端に向って移動可能である複数のインプラントであって、前記インプラントのうちの少なくとも１つが、前記ハンドル部材および前記駆動シャフトが前記ハウジング部材に対して回転されて前記駆動シャフトの遠位端から前記ハウジング部材の遠位端の開口部を経て送達されるとき、前記受け部材の前記レセプタクル内に係合可能である、インプラントと、
を備える、外科システム。
【請求項２】
前記受け部材は患者の脊柱に係合可能であり、前記インプラントは、前記少なくとも１つのレセプタクル内にねじ込み式に係合可能な雄ねじ型の止めねじである、請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
前記ハウジング部材は、前記遠位端の開口部に隣接する雌ねじ部分を含み、前記止めねじは、前記駆動シャフトの前記遠位端からの送達のために、前記ハウジング部材の前記雌ねじ部分をねじ込み式に通過する、請求項２に記載のシステム。
【請求項４】
前記ハンドル部材の遠位端と前記ハウジング部材の近位端との間に結合された取り付け部材をさらに含み、前記ハンドル部材および前記駆動シャフトは前記取り付け部材に対して回転可能である、請求項１に記載のシステム。
【請求項５】

前記駆動シャフトは、前記駆動シャフトから径方向に外側に延びる鍔部を含み、前記取り付け部材の前記遠位端が、前記鍔部と当接係合する、請求項４に記載のシステム。
【請求項６】
前記駆動シャフトは、
前記鍔部から遠位側に延びるインプラント係合部分と、
前記鍔部から近位側に延びるハンドル係合部分であって、前記取り付け部材を通って延び、前記ハンドル部材に結合されるハンドル係合部分と、
を含む、請求項５に記載のシステム。
【請求項７】
前記鍔部から、前記駆動シャフトの前記インプラント係合部分の周りに摺動可能に受けられる摺動部材まで遠位側に延びる圧縮可能な付勢部材をさらに備え、
前記摺動部材は、前記複数のインプラントのうちの最も近位の１つと接触し、
前記付勢部材および前記摺動部材は、前記複数のインプラントを前記駆動シャフトに沿って遠位側に付勢する、請求項６に記載のシステム。
【請求項８】
前記ハウジング部材が、前記ハウジング部材の遠位端壁から遠位側に延びるフランジを含み、　前
記フランジが、前記レセプタクルに隣接する前記受け部材と接触して位置決め可能である、請求項１に記載のシステム。
【請求項９】
外科システムであって、
ハンドル部材と、前記ハンドル部材に係合され長手方向軸に沿って前記ハンドル部材から遠位側に延びる駆動シャフトと、前記ハンドル部材に結合され、前記駆動シャフトの周りを長手方向に延びるハウジング部材とを含み、前記駆動シャフトが前記ハンドル部材を用いて前記ハウジング部材に対して回転可能であり、前記ハウジング部材が該ハウジング部材の遠位端の開口部に隣接する雌ねじ部分を含む、器具と、
前記ハウジング部材内で、前記駆動シャフトに沿って該駆動シャフトの周りに位置決めされ、前記駆動シャフトに沿って該駆動シャフトの遠位端に向って移動可能である複数のインプラントであって、それぞれのインプラントが前記ハンドル部材を用いた前記駆動シャフトの回転によって前記ハウジング部材の前記雌ねじ部分に沿ってねじ込み式に前進されて前記雄ねじ部分と位置合わせされたとき、前記ハウジング部材の前記雌ねじ部分に係合可能である雄ねじ部分を含む、複数のインプラントと、
を備える、外科システム。
【請求項１０】
患者の体内に埋込み可能な受け部材をさらに備え、
前記受け部材が、前記複数のインプラントのうちの少なくとも１つを中に受け入れるための少なくとも１つのねじ込み式レセプタクルを含む、請求項９に記載のシステム。
【請求項１１】
複数のインプラントを埋込み位置に送達するための外科器具であって、
近位のハンドル部材と、
前記ハンドル部材に係合され、長手方向軸に沿って前記ハンドル部材から遠位側に延び、前記ハンドル部材の回転によって回転可能であり、駆動シャフトに沿って軸方向に複数のインプラントを受け入れるように寸法決めされ、成形される駆動シャフトと、
前記ハンドル部材に結合され、前記駆動シャフトの周りを長手方向に延び、遠位端の開口部と前記遠位端の開口部に隣接する雌ねじとを含むハウジング部材であって、前記雌ねじは前記複数のインプラントのうちの隣接する１つにねじ込み式に係合可能であり、前記ハンドル部材および前記駆動シャフトはハウジング部材に対して回転可能であり、前記ハンドル部材の回転が、前記駆動シャフトを回転させて、前記遠位端の開口部を介しての送達のために前記隣接するインプラントを前記雌ねじに沿ってねじ込み式に前進させる、ハウジング部材と、

を備える、外科器具。
【請求項１２】
前記ハウジング部材は、内部穴と、前記駆動シャフトに沿って前記穴と連通して前記ハウジング部材を通って延びる細長い窓とを含む、請求項１１に記載の器具。
【請求項１３】
前記ハンドル部材の遠位端と前記ハウジング部材の近位端の間に結合された取り付け部材をさらに備え、
前記ハンドル部材および前記駆動シャフトは、前記取り付け部材に対して回転可能である、請求項１１に記載の器具。
【請求項１４】
前記駆動シャフトは前記駆動シャフトから径方向に外側に延びる鍔部を含み、前記取り付け部材の遠位端が前記鍔部と当接係合する、請求項１３に記載の器具。
【請求項１５】
前記駆動シャフトは、
前記鍔部から遠位側に延びるインプラント係合部分と、
前記鍔部から近位側に延びるハンドル係合部分であって、前記取り付け部材を通って延び、前記ハンドル部材に結合されるハンドル係合部分と、
を含む、請求項１４に記載の器具。
【請求項１６】
前記鍔部から、前記駆動シャフトの前記インプラント係合部分の周りに摺動可能に受けられる摺動部材まで遠位側に延びる圧縮可能な付勢部材をさらに備え、
前記摺動部材が、前記複数のインプラントのうちの最も近位の１つと接触し、前記付勢部材および前記摺動部材が、前記複数のインプラントを前記駆動シャフトに沿って遠位側に付勢する、請求項１５に記載の器具。